

学 生 募 集 要 項

【大学院地域創生研究科】

地域社会マネジメント専攻（修士課程）

情 報 工 学 専 攻（修士課程）

人 間 健 康 科 学 専 攻（修士課程）

《 特別選抜（推薦入試） 》

令和5年4月入学

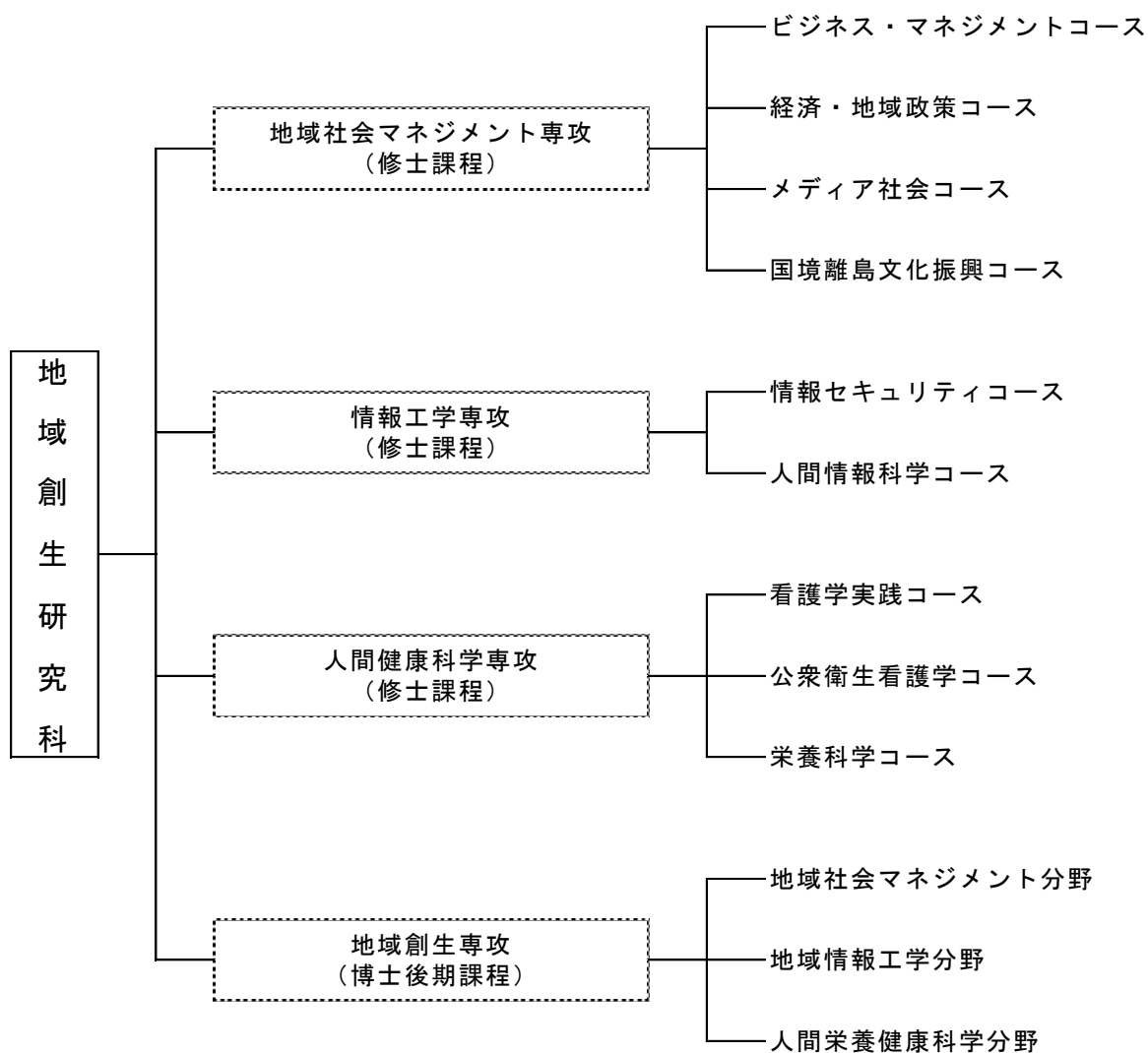


長崎県立大学
UNIVERSITY OF NAGASAKI

【 目 次 】

長崎県立大学大学院地域創生研究科の構成	1
教育目標と学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）	2
1. 募集人員及び試験期日	8
2. 出願資格	8
3. 出願前の手続	9
4. 出願手続	10
5. 受験上の配慮について	12
6. 選抜方法	12
7. 新型コロナウイルス感染症対策に伴う受験上の注意事項	13
8. 合格発表	13
9. 入学手続	13
10. 初年度納付金等	14
11. 研究指導担当教員	15
12. 授業科目一覧	21
出願書類等（様式）	

長崎県立大学大学院地域創生研究科の構成



地域創生研究科の教育目標と学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

【教育目標】

本研究科では、俯瞰的かつ多面的な視点を持ち、領域横断的な専門応用力を備えた人材を養成します。地域創生はまずもって問題の現状の把握が必要不可欠ですが、その問題は複雑極まりなく、自らの専門性の枠組みのみでは十分に目的を果たすことはできません。そこでは自らの専門性を踏まえたうえで、他の専門分野等からの視点を柔軟に取り入れ、その問題に対して思考と積極的な行動を繰り返して問題解決の糸口を手繰り寄せていく力、すなわち実践的な判断力と、自らが属する組織のミッションを広く理解してリーダーシップを発揮して、課題解決に向け関係者を調整して実現に結び付ける実行力の修得が求められます。

よって本研究科では、①各専攻領域に関する高度な専門知識を修得し、批判的かつ総合的な視野をもってさらなる知的創造につなげる能力、②その知識に従事する職業や組織において活用するため、それぞれの組織のミッションを広い文脈で理解して課題を設定し解決する能力、③複雑性・相互依存性が強まる現代において社会・地域の諸課題と個性創出の先進経験を、自らの専門領域との関連性において理解する能力の修得を目標とします。

本研究科は4つの専攻で構成し、地域社会マネジメント専攻（修士課程）では、地域経済と高度ネットワーク社会の実情を把握し政策立案ができリーダーシップを担える人材を、情報工学専攻（修士課程）では、急速に進展をみせている情報科学の知識・技術を修得し高度知識社会の情報基盤を支える人材を、人間健康科学専攻（修士課程）では、看護と栄養に関する連携的な研究をベースに地域住民のQOL向上に貢献できる専門的人材を、地域創生専攻（博士後期課程）では、地域社会マネジメント、情報工学、栄養健康科学いずれかにおいて高度な学識を有し、高い水準の先端研究を自立して行えることに加えて、分野横断的な連携を図ることで複雑な諸問題を柔軟に解決できる博識を有する人材を養成します。

各専攻にはコースあるいは分野を置き、専門分野別の知的修練のみならず、統合した研究科を構築することで俯瞰的かつ多面的な視点と、領域横断的な専門応用能力を涵養する教育を行います。

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

本研究科は、上記の教育目標を意欲的に実現する次のような学生を求めています。

- 本学の理念と研究科の教育目標を十分に理解し、柔軟な思考を持って、積極的に学ぶ意欲のある人
- 地域社会や国際社会のさまざまな課題に関心を持ち、その課題解決や価値創造に貢献したいと考えている人
- 幅広い見識と高度な専門知識を身につけ、他領域と連携・協働しながら各分野で活躍したいと考えている人

地域社会マネジメント専攻

【教育目標】

地球環境問題、エネルギー・資源問題、少子高齢化問題など、資本主義・グローバル市場の行き詰まりが見え始めた 21 世紀においては、新しいビジョン・パラダイムが求められ、人間・技術・組織・制度をトータルにシステムとしてとらえることが必要となってきました。長崎県は、日本の最西端に位置するだけでなく、多くの離島を抱え、18 歳人口の県外流出が九州一です。グローバル化・情報化が進展する現代において、長崎県(地方・地域)の課題に応えるためには、地域経済、離島問題の理解のみならず、新しい可能性を拓くための視野の拡大に必要な国際政治・経済や新しい関係性構築に必要な高度情報化社会の理解が必要であり、次の 4 コースで構成します。

- a ビジネス・マネジメントコース
- b 経済・地域政策コース
- c メディア社会コース
- d 国境離島文化振興コース

本専攻では、各コースで学ぶ経営学・経済学・政治学・法学・情報論・離島文化論の専門分野の専門的知識のみでなく、グローバル化・情報化が高度に進展した現代社会を高度化組織・グローバル市場・地域社会・異文化などの多角的・総合的な視点と専門的知識を活用・応用する能力を併せ持ち、地域経済と高度ネットワーク社会の実情を把握し政策立案ができリーダーシップを担える人材を養成します。

専攻共通科目において、各領域を横断した多角的・総合的な視点及び学際的な分野への対応能力を含めた専門的知識を活用・応用する能力を獲得させ、各コースの専門科目において自らの設定した課題に対し専門的知識を活用・応用する能力の修得を目標とします。学生個々の研究課題を達成するための必要な専門科目を各コースに設置しており、研究指導教員のアドバイスを元に、各自が進路に必要な専門科目を修得して修士論文あるいは課題研究論文を作成することにより、高度専門職業人として社会において活躍するために必要な専門的知識、活用・応用能力を養成します。

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

本専攻は、下記のいずれかの項目に該当する人を求めます。

1. 地域社会、地域経済、地域企業の課題に関心を持ち専門的知識を有すると共に、その課題解決方法を学びたい人
2. 地域課題に関心を持ち専門的知識を有すると共に、情報化・グローバル化と結びつけて、考え、解決することを目指す人
3. 既に獲得している専門的知識に加えて修得した知識・能力を用いて、民間企業・行政組織・国際機関・非営利組織などで働きたいという意欲を持った人

ビジネス・マネジメントコース	【教育目標】 長期的な組織の環境適応を目指す戦略的視点で、企業・事業・職務の分析と、グローバル化・情報化した市場と地域の分析から、課題発見・問題解決方法探索能力を持った人材(経営幹部・経営者、事業承継者、コンサルティング能力を併せ持つ税理士など)を養成します。 マネジメント系の科目で組織・管理・戦略を中心とした経営学と地域の特徴を活かした地域活性化の視点を、マーケティング系の科目で市場と物流に関する専門的知識を、会計学・関係法系で企業の法的・制度的知識を学び、地域や企業における課題を的確に把握・分析し、解決策を導出できる能力の修得を目標とします。 修了後の進路等としては、企業、事業承継、地域資源を活かした起業、地域課題の解決を目指す NPO、NGO などを想定しています。 【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】 本コースは、下記のいずれかの項目に該当する人を求めます。 1. 地域企業の経営者・管理者として、企業の持続的な発展に貢献したい人 2. グローバル化・クラウド化・ビックデータ化・AI 化といったビジネス環境の変化に対応できる人材を目指す人 3. 事業や企業の課題発見と課題解決の能力を育み、組織の発展に貢献したい人 4. 地域 NPO 等の非営利組織の経営者・管理者を目指す人 5. 志望分野に関する深い専門的知識を有していると共に、コンサルティング能力を有する税理士を目指す人 6. 地域社会において、新たな起業を目指す人 7. 志望分野に関する深い専門的知識を有していると共に、経営学・会計学を専門的に理解することで、組織の発展に貢献したい人 【取得できる学位】 修士（経営学）
----------------	--

経済・地域政策コース	【教育目標】 経済・政策に関する知識を身に付けると共に、経済的知識・分析方法を用いて地域振興・活性化に活躍できる人材を養成します。加えて、政治・行政に関するより高度で、幅広い視点から、地域の政治・行政のあり方について専門的に学び、将来の地域課題に解決策が提案できる人材を養成します。 経済学系科目において経済学をもとにした思考力、分析能力を修得し、これを基礎として、地域行政系科目または地域政策系科目においては、地域における行政または政策に関する課題発見力、改善案を提案できる能力の修得を目標とします。 修了後の進路等としては、企業、地域活性化のコーディネーター、NPO、NGO、公務員などを想定しています。 【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】 本コースは、下記のいずれかの項目に該当する人を求めます。 1. 地域社会や地域経済の課題に関心を持ち、その課題解決方法を学びたい人 2. 積極的に地域に入って、課題の発見や分析を行いたい人 3. 地域や私たちの身の回りのさまざまな政策課題について修得した知識を活かして、地域の豊かな暮らしの構築に向けて貢献したい人 4. 政策の企画・立案について修得した知識を活かして、行政や民間企業で活躍したい人 5. 地域の諸課題を分析・考察するための知識やスキルを活用して、地域づくりに貢献したい人 6. 地域社会や企業において高度な経済に関するスキルを活かして活躍したい人 【取得できる学位】 修士（経済学）
メディア社会コース	【教育目標】 高度情報化社会に関する社会学領域の知見を基に、メディアによるコミュニケーションが社会に及ぼす影響について理解し、実践的にメディアを活用する能力を備えた人材を養成します。 学生は、自ら選択した研究課題について、情報を主体的に収集・分析・整理します。そのうえで、独創的な成果を導き出します。学修の過程で、しっかりとした視点と的確な表現能力を身に付け、それによって情報を効果的に発信する能力の修得を目標とします。 修了後の進路等としては、マスコミ、メディア関連企業、地方自治体の国際部門、国際機関、観光関連産業、その他の企業などを想定しています。 【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】 本コースは、下記のいずれかの項目に該当する人を求めます。 1. 現代社会と情報との関わりに関心を持ち、情報が社会に及ぼす影響について研究し、高度情報化社会に貢献したいという意欲のある人 2. 志望分野に関する深い専門的知識を有していると共に、マスコミ、メディア関連企業において、情報発信の分野で働きたいという意欲のある人 3. 志望分野に関する深い専門的知識を有していると共に、地方自治体などの国際交流の分野で働きたいという意欲のある人 4. 国際社会の様々な問題に興味を持ち、志望分野に関する深い専門的知識を有していると共に、国際機関、観光関連産業、その他の企業などを舞台に、世界的な視野に立って問題を解決し、国際社会に貢献したいという意欲のある人 【取得できる学位】 修士（メディア社会学）
国境離島文化振興コース	【教育目標】 「国境離島」に関する文化的、社会的、法的な専門性をもって、「国境離島」の文化振興に主体的に貢献できる能力を有し、かつ国際協調の精神を持ち、国際社会や地域社会に専門性をもって貢献できる能力を有する人材を養成します。 「国境離島」に関する歴史や文化に関わる科目、基本的原理の理解や実践力育成・課題解決能力育成に関わる科目を設けて、「国境離島」の文化振興に関わる諸課題に、歴史・文化的かつグローバルな視点から実践的に取り組んでいける能力の修得を目標とします。 修了後の進路等としては、NPO、NGOなどの諸団体、公務員、他大学の博士課程への進学などを想定しています。 【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】 本コースは、下記のいずれかの項目に該当する人を求めます。 1. 「国境離島」に関する文化的、社会経済的、法的な専門性をもって、国境離島の文化や経済振興に主体的に貢献したいという意欲のある人 2. 国際協調の精神を持ち、国際社会や地域社会に専門性をもって貢献したいという意欲のある人 【取得できる学位】 修士（文化振興学）

情報工学専攻

【教育目標】

進んだ情報科学の知識と技術の修得を図り、現代の高度情報化社会に貢献できかつ情報基盤を支える人材を養成します。本専攻は、次の2コースで構成します。

- a 情報セキュリティコース
- b 人間情報科学コース

数学の応用的知識及び情報工学の基盤となる理論をもとに、移動体通信等で需要が高まっているモバイルアプリケーションの開発・作成ができる能力、情報コンテンツの新たな価値を創出できる能力とコンピュータネットワークへの不正アクセスを監視・排除ができ、機密情報の管理・保全ができる能力等の修得を目標とします。

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

本専攻は、下記のすべての項目に該当する人を求めます。

1. 情報処理または情報セキュリティの分野の基本的な知識・リテラシーを有する人
2. 高度な情報処理技術や情報セキュリティ技術を修得可能な素養を持つ人
3. 高度情報化社会における諸問題に対し解決を図ろうとする強い意欲を持つ人

情報セキュリティコース	【教育目標】 情報処理技術者として必要な情報工学の知識や技術をベースに、情報セキュリティ分野で活躍するための最先端の専門知識や専門技術を持ち、高度情報化社会における情報セキュリティの問題を自ら発見し解決する能力を持つ人材を養成します。 学部教育で培った情報科学、セキュリティ技術、数理科学の知識・技術を基礎とし、さらに高度な暗号技術、情報セキュリティ、リスクマネジメント分野におけるセキュリティ能力の修得を目標とします。 修了後の進路等としては、国内外の情報産業各社および関連企業、情報セキュリティベンダなどを想定しています。 【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】 本コースは、下記のいずれかの項目に該当する人を求めます。 1. 情報セキュリティに関する基本的な知識・技術を既に修得しており、より高度な知識・技術を修得することで修了後に情報セキュリティ分野で活躍する意欲を持つ人 2. 情報セキュリティの知識・技術に強い関心を持って取り組めるだけでなく、その変化や革新に対しても継続的に強い関心を持って取り組める人 3. 大規模複雑化が進む高度情報化社会において、情報セキュリティ関連の問題を自ら発見し、解決する意欲を持つ人 【取得できる学位】 修士（情報工学）
人間情報科学コース	【教育目標】 情報科学を基礎とした人間の理解および人間とコンピューターとの関係の理解を深めるための概念を創造できる人材、ならびに、これらの理解に基づく情報技術を創造できる人材を養成します。 学部教育で培った知識・技術を基礎にモバイルアプリケーションの作成・開発、CG アニメーションの作成・開発、Web デザインの作成・開発、AI、データベース技術等を、より具体的・現実的なソフトウェア開発に応用し、感情・色彩・視聴覚情報処理等のアプリケーション作成・開発の知識・技術の修得を目標とします。 修了後の進路等としては、国内外の情報産業各社および関連企業、コンテンツ産業および関連企業、などを想定しています。 【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】 本コースは、下記のいずれかの項目に該当する人を求めます。 1. 自然、社会、文化等に対して幅広い関心を持ち、かつ情報処理技術に関する基礎学力を持った人 2. 情報工学を理解するために必要な数学、理科に興味を持ち、それらに応用する能力と自主的に学ぶ意欲を持った人 3. 人間情報科学（情報科学・認知科学・デザイン学等の複合分野）とその周辺分野に対する旺盛な好奇心を持った人 4. 人間情報科学（情報科学・認知科学・デザイン学等の複合分野）における問題解決の実践に情熱を持った人 【取得できる学位】 修士（情報工学）

人間健康科学専攻

【教育目標】

本専攻は人間の健康に関して、疾患・障害の有無にかかわらずＱＯＬを維持・向上させる観点、健康を保持・増進させるあるいは疾病を予防する観点、食品の機能性や食生活の面から健康の保持・増進を科学的に理解し追究する観点の３つの観点を融合させ、人のＱＯＬの向上に貢献することを目指します。看護と栄養の面から人の健康を支えるために本専攻には、次の３つのコースを設置し、俯瞰的な視点と専門的知識を活用・応用する能力を併せ持ち、地域住民のＱＯＬの向上に向け高度な専門性を生かして社会の健康問題を解決できる人材を養成します。

- a 看護学実践コース
- b 公衆衛生看護学コース
- c 栄養科学コース

健康と栄養及び人のＱＯＬに関する俯瞰的視点、研究活動の推進能力の修得を目標とします。また、看護と栄養に関する専門的知識を持ち、研究者、教育者、あるいは高度専門職業人として種々の健康課題に対して積極的に取り組み、解決できる能力の修得を目標とします。

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

本専攻は、医療・保健・食生活・運動の面から健康の保持・増進、疾病からの回復を図ることで人のＱＯＬの向上に貢献し、社会の健康問題を解決できる人材の育成を行っています。このような教育理念を踏まえて、看護分野、公衆衛生分野、栄養科学分野において看護師、保健師、高度専門職業人、または教育・研究者としての専門性をさらに高め、創造性、論理性、倫理性を併せ持ち、意欲、リーダーシップ、管理力を身に付けた高度専門職業人、または教育・研究者の養成を目指しており、下記のいずれかの項目に該当する人を求めます。

- １．現代社会が抱える看護、保健、栄養分野の問題解決に意欲のある人
- ２．責任感あふれる次世代のリーダーとなる高度専門職業人を目指す人
- ３．学術の発展のため教育・研究の専門家を目指す人

看護学実践コース	【教育目標】 看護実践領域における教育者・指導者を養成することを目的とし、学部卒業生はもとより社会人看護師にも門戸を開き、研究能力の養成と共に、専門性の高い看護実践能力・看護管理能力や教育研究能力を備えたリーダーシップを発揮できる高度専門職を養成します。 多様な看護専門領域において、看護の諸問題の解決ができる高度専門職としての看護実践能力、多様な看護専門領域において、実践的な教育指導ができる教育者としての能力および、看護管理ができる看護マネジメント能力の修得を目標とします。さらに看護学の基盤を支え看護の質改善に必要な研究能力を獲得し看護学の学術研究を通して、社会に貢献できる多様な看護専門領域の研究者・教育者としての能力修得を目標とします。 修了後の進路等としては、病院・行政・福祉施設、大学などの教育研究機関などを想定しています。 【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】 本コースは、下記のいずれかの項目に該当する人を求めます。 １．看護の現象を深く探求し、看護の研究に取り組みたい人 ２．看護・保健学領域において、高度専門職業人として看護学実践の発展に貢献したい人 ３．病院等・保健機関・大学で看護学の専門家として教育・研究の指導者を目指す人 【取得できる学位】 修士（看護学）
----------	--

公衆衛生看護学コース	【教育目標】 高い倫理観と幅広い知見を持ち、住民及び関係者と協働して健康な地域づくりに寄与する保健師を養成します。 人々の暮らしや健康を多角的な視野と倫理的な観点でとらえ、包括的なアセスメントに基づいて健康課題や生活課題を改善・解決する看護実践能力、個別の課題を地域の課題に発展させ、住民や関係者と協働して解決するマネジメント能力、変化する社会情勢をとらえ多様化・複雑化する地域の課題に継続して取り組む組織的解決能力、個人の福利と公衆衛生の向上を目的とした地域づくりのための健康政策課題の考察力、公衆衛生看護実践の質の向上に必要な倫理観・知見・研究的思考を獲得し専門性を探求し続ける自己研鑽能力の修得を目標とします。 本コースの修了者は保健師国家試験の受験資格を得ることができます。また、修了後の進路等としては、行政機関の保健師、民間企業、医療機関、教育機関、研究機関などを想定しています。 【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】 本コースは、看護師資格を有し、下記のすべての項目に該当する人を求めます。 1. 優れたコミュニケーション能力を持ち、他者と協力しながら公衆衛生看護の高度な知識や実践能力を身に付けようとする意志をもつ人 2. 人びとの健康と暮らしを守るため、人々との協働とパートナーシップを基盤とした保健活動の展開を意欲的に行おうとする人 3. 幅広い視野をもち公衆衛生看護学分野の発展のための研究能力を身に付けたい人 【取得できる学位】 修士（公衆衛生看護学）
栄養科学コース	【教育目標】 食と健康科学の統合化を踏まえ、栄養科学と健康科学の最新の知識や実践的技術を持ち、健康の保持・増進や質の高い食生活、栄養状態の改善などを科学的に理解・追究することにより社会に貢献できる教育・研究者を養成します。 機能性食品や社会的ニーズにあった食品を研究・開発するための高度な知識や能力、保健・医療・福祉分野で活躍できる管理栄養士としての知識や実践能力、健康の保持・増進の視点に立ち、次世代の専門職業人を養成する教育研究支援者としての能力修得を目標とします。 修了後の進路等としては、食品企業（研究職）、病院・保健所・福祉施設、大学などの教育研究機関、大学院博士後期課程進学などを想定しています。 【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】 本コースは、栄養科学分野の基礎知識かつ基本的な英文読解力を有するとともに、下記のいずれかの項目に該当する人を求めます。 1. 機能性食品や社会的ニーズにあった食品の研究・開発に取り組みたい人 2. 医療機関におけるチーム医療で栄養学の専門家として活躍したい人 3. 保健・医療・福祉行政分野などの領域で高度専門職業人として地域栄養活動に貢献したい人 4. 大学・研究機関などにおいて、栄養学や健康科学などの専門家として教育・研究に携わりたい人 【取得できる学位】 修士（栄養学）

1. 募集人員及び試験期日

専攻（課程）	募集人員	試験期日
地域社会マネジメント専攻 （修士課程）	15名	令和4年7月2日（土）
情報工学専攻 （修士課程）	10名	
人間健康科学専攻 （修士課程）	12名	

※各専攻の募集人員は、特別選抜（推薦入試）のほか、一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜の募集人員の合計となります。なお募集人員には、別途実施する夏季募集、冬季募集及び協定校から推薦入試により受け入れる者の若干名を含みます。

2. 出願資格

特別選抜（推薦入試）においては、以下の各専攻における出願資格を満たし、合格した場合、入学を確約できる者とします。

（1）地域社会マネジメント専攻

コース	出願資格
ビジネス・マネジメントコース	長崎県立大学を令和5年3月31日までに卒業見込みの者で、以下の①、②の要件をすべて満たす者 ①所属学部の学部長の推薦を得られる者 ②3年次終了時点で累積 GPA2.0 以上の者
経済・地域政策コース	
メディア社会コース	
国境離島文化振興コース	

（2）情報工学専攻

コース	出願資格
情報セキュリティコース	長崎県立大学情報システム学部を令和5年3月31日までに卒業見込みの者で、以下の①～③の要件をすべて満たす者 ①情報システム学部長の推薦を得られる者 ②3年次終了時点で累積 GPA2.0 以上の者 ③情報システム学部の卒業要件となる以下のいずれかの試験に合格している者 *注 - 基本情報技術者試験 - 情報セキュリティマネジメント試験 - IPA の区分「レベル3」以上の情報処理技術者試験 - 情報処理安全確保支援士試験 - CG-ARTS 検定エキスパート （マルチメディア検定は除く）※情報システム学科のみ
人間情報科学コース	

(3) 人間健康科学専攻

コース	出願資格
看護学実践コース	長崎県立大学看護栄養学部看護学科を令和5年3月31日までに卒業見込みの者で、以下の①～③の要件をすべて満たす者 ①看護栄養学部長の推薦を得られる者 ②3年次終了時点で累積 GPA3.0 以上の者 ③大学院での明確な研究テーマが設定されている者
公衆衛生看護学コース	長崎県立大学看護栄養学部看護学科を令和5年3月31日までに卒業見込みの者で、以下の①～③の要件をすべて満たす者 ①看護栄養学部長の推薦を得られる者 ②3年次終了時点で累積 GPA3.0 以上の者 ③保健師になる意志が明確な者
栄養科学コース	長崎県立大学看護栄養学部栄養健康学科を令和5年3月31日までに卒業見込みの者で、以下の①～④の要件をすべて満たす者 ①看護栄養学部長の推薦を得られる者 ②3年次終了時点で累積 GPA3.0 以上の者 ③履修した英語の GPA が 3.0 以上（認定されている単位は A(秀)換算とする）の者 ④留年していない者

***注** 情報工学専攻の出願資格③については、出願時において指定された試験に合格している者が対象です。

3. 出願前の手続

(1) 事前面談について

全ての志願者は、出願前に志望分野の担当教員との事前面談（メールを含む）を行う必要があります。

①面談の実施方法・連絡先について

担当教員については、**研究指導担当教員**（15～20ページ）によることとし、事前面談は、直接、担当教員へ申し込んでください。（複数の教員と面談することも可能）

※担当教員との事前面談を行う前に、研究指導の内容等について確認したい場合は、以下に記載する各専攻の責任者にお問い合わせください。

地域社会マネジメント専攻・・・谷澤 毅 教授

情報工学専攻・・・吉村 元秀 教授

人間健康科学専攻・・・倉橋 拓也 教授

※担当教員が不在の場合は、学生支援課学生グループまでお問い合わせください。

※事前面談では出願書類を持参する必要はありません。

②事前面談実施期間

令和4年6月1日（水）～6月10日（金）

（2）学部長推薦書について

- ①志願者は、上記（1）の事前面談終了後、学部長推薦書（D票）を担当教員へ提出してください。その際、志望理由書（B票）及び研究計画書（C票）の写しを推薦書と一緒に提出してください。
- ②学部長が推薦可能と判断した場合は、担当教員を通じて、推薦書を受け取ることになります。

4. 出願手続

（1）出願期間

令和4年6月8日（水）～ 6月17日（金） **必着**

（2）出願方法

出願書類は、大学窓口へ直接持参又は「簡易書留・速達」で郵送してください。
大学窓口での受付時間は、平日の午前9時から午後5時までとします。

（3）出願先

専攻	コース	出願先（大学窓口）
地域社会 マネジメント専攻	ビジネス・マネジメントコース	〒858-8580 長崎県佐世保市川下町 123 番地
	経済・地域政策コース	
	メディア社会コース	〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野 1 丁目 1 番 1
	国境離島文化振興コース	
情報工学専攻	情報セキュリティコース	長崎県立大学シーボルト校 学生支援課学生グループ
	人間情報科学コース	
人間健康科学専攻	看護学実践コース	長崎県立大学シーボルト校 学生支援課学生グループ
	公衆衛生看護学コース	
	栄養科学コース	

(4) 出願書類

出 願 書 類 等		留 意 事 項 等
入学志願票	A 票	縦 4 cm×横 3 cm の写真（上半身、無帽、正面向き、背景無しで出願前 3 ヶ月以内に撮影したもの）の裏面に氏名を記入し、写真貼付欄にはがれないようのり付けしてください。
志望理由書	B 票	志望理由を 1,000 字程度で記入してください。 (印刷・提出する際は、両面印刷してください。)
研究計画書	C 票	研究計画を 1,000 字程度で記入してください。 (印刷・提出する際は、両面印刷してください。) ※人間健康科学専攻公衆衛生看護学コースの志願者は、提出不要です。
学部長推薦書	D 票	担当教員との事前面談終了後、志願者氏名、志望専攻、志望コースを記入して、担当教員に提出してください。 ※学部長推薦書は、出願期間内に他の出願書類と一緒に提出してください。
受験票	E 票	縦 4 cm×横 3 cm の写真（上半身、無帽、正面向き、背景無しで出願前 3 ヶ月以内に撮影したもの）の裏面に氏名を記入し、写真貼付欄にはがれないようのり付けしてください。
写真票	F 票	
大学院入試 検定料納付 証明書貼付票	指定様式	金融機関窓口（ゆうちょ銀行・郵便局を除く）で大学院入試検定料の振込依頼書により 30,000 円を納付し、検定料納付証明書貼付欄に納付証明書（ハ票）を貼付してください。
成績証明書	-	本学指定様式
卒業見込証明書	-	本学指定様式
検定試験関係 書類	情報工学 専攻のみ	出願資格③について、合格証書の写しを提出してください。
在留資格の 証明	外国籍の 者のみ	在留資格及び期間を確認します。在留カード（両面）又は、市区町村が発行する住民票を提出してください。ただし、登録を要しない者又は登録未済の者は査証及びパスポートの写しを提出してください。
受験票 送付用封筒	G 票	郵便番号、住所、氏名を記入し、664 円分の切手を貼付してください。
出願用封筒	H 票	住所、氏名等を記入し、郵送の場合は「簡易書留・速達」扱いにしてください。 ※不足書類が無いように封筒の裏面のチェック表を活用してください。

注)改姓により出願書類と各種証明書の氏名が異なっている場合には、戸籍抄本を添付してください。

(5) 出願上の留意事項

- ①出願時に本学指定の書類がすべて揃っていない場合は受付できませんので、提出の際は十分確認してください。
- ②出願書類の記入にあたっては、黒色のボールペンで正確に記入してください。
- ③出願書類受付後は、記入事項の変更を認めません。ただし、出願後に氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、学生支援課学生グループに連絡してください。
- ④受験票は、出願書類受理後に送付します。試験日の 3 日前までに受験票が届かない場合は、学生支援課学生グループにお問い合わせください。

- ⑤入学を許可した後であっても、提出された出願書類の記載と相違する事実が確認された場合には、入学を取り消すことがあります。
- ⑥一度受理した出願書類は返還しません。
- ⑦既納の検定料は、次に該当する場合のみ返還します。
- ・出願書類を提出しなかった場合
 - ・出願が受理されなかった場合
 - ・検定料を二重に振り込んだ場合
- ※上記理由による当該検定料返還の申し出は、出願期間の最終日から1ヶ月以内とします。
- ⑧公衆衛生看護学コースについては、出願時に看護師免許の取得見込で、令和5年2月に実施される看護師国家試験において不合格となった場合は、合格を取り消します。

5. 受験上の配慮について

障がい等のある入学志願者で、受験上及び修学上の特別な配慮を希望する場合は、出願の前に、あらかじめ学生支援課学生グループに申し出てください。

なお、必要な場合は、本人又はその立場を代弁できる関係者との面談や医師の診断書等の提出をお願いすることがあります。

6. 選抜方法

大学が実施する面接、並びに提出された出願書類により総合的に判定して行います。

(1) 試験場、試験科目、満点、試験時間

専攻	コース	試験場	試験科目	満点	試験時間
地域社会マネジメント専攻	ビジネス・マネジメントコース	佐世保校	面接 (口頭試問を含む)	50点	令和4年 7月2日(土) 10:00～
	経済・地域政策コース			50点	
	メディア社会コース	シーボルト校		50点	
	国境離島文化振興コース			50点	
情報工学専攻	情報セキュリティコース	シーボルト校	面接 (志望分野の内容を問う口頭試問を含む)	100点	
	人間情報科学コース			100点	
人間健康科学専攻	看護学実践コース	シーボルト校	面接 (口頭試問を含む)	100点	
	公衆衛生看護学コース			100点	
	栄養科学コース			200点	

※試験場について

長崎県立大学佐世保校 : 長崎県佐世保市川下町123番地

長崎県立大学シーボルト校 : 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1丁目1番1

(2) 受験上の留意事項

- ①受験者は、試験開始 15 分前に決められた面接控室に集合し、待機してください。
- ②試験開始時に不在であった場合には、欠席したものとして取り扱います。
- ③当日は、受験票を必ず持参してください。
- ④当日に受験票を忘れた者は、係員の指示に従い速やかに仮受験票の交付を受けてください。
- ⑤携帯電話等は、試験室に入る前に電源を必ず切っておいてください。
- ⑥試験中における受験者間の物品の貸借は一切認めません。
- ⑦試験場には、受験者用駐車場がありませんので、公共交通機関を利用してください。
- ⑧その他連絡事項が生じた場合には、受験票送付の際に併せて通知します。

7. 新型コロナウイルス感染症対策に伴う受験上の注意事項

- ①新型コロナウイルス感染拡大防止のため、発熱・咳等の症状の有無にかかわらず、試験場では常にマスクを着用（鼻と口の両方を確実に覆うこと）してください。（何らかの事情によりマスクの着用が困難な場合は、事前に学生支援課学生グループへ相談してください。）なお、マスクは各自で必ず持参してください。
- ②試験日の 2 週間程度前から発熱・咳等の症状がある受験者は予め医療機関で診察を受けてください。
- ③試験日の 7 日程度前から朝などに体温を測定し、体調変化の有無を確認してください。また、試験当日も、必ず検温を実施してください。その際、37.5 度以上の熱がある受験者、また、37.5 度までの熱はないものの、発熱や咳等の症状のある受験者は、その旨を試験場本部又は監督者等に電話でご相談ください。

佐世保校 : TEL 0956-47-5703

シーボルト校 : TEL 095-813-5065

8. 合格発表

(1) 合格発表期日

令和 4 年 7 月 8 日（金） 午前 10 時

(2) 発表方法

- ①佐世保校では管理棟 1 階エレベーター前に、シーボルト校では本部棟 1 階学生支援課前に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格発表日に合格者には合格通知書を速達で発送します。
- ②電話等による問い合わせには応じません。

9. 入学手続

(1) 入学手続期間

令和 4 年 7 月 11 日（月）～7 月 19 日（火） **必着**

(2) 入学手続方法

- ①入学手続の詳細及び必要な書類は、合格通知書とともに送付します。
- ②大学提出書類は、大学窓口へ直接持参又は「簡易書留・速達」で郵送してください。
- ③大学窓口での受付時間は、平日の午前 9 時から午後 5 時までとします。
- ④一度受理した入学手続書類は返還しません。

注) 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。

10. 初年度納付金等

(1) 入学料

入学手続の際には、下記の金額の入学料を納付する必要があります。

176,500円

注1) 入学料の金額は現行の規定によるもので、変更になることがあります。

注2) 入学料は入学手続期間内に納付してください。

注3) 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

(2) 授業料

前 期	後 期	年 額 (計)
267,900円	267,900円	535,800円

注1) 上記の金額は現行の規定によるもので、変更になることがあります。

注2) 授業料は入学後に納付していただきます。詳細については、入学手続関係書類とともに送付します。

注3) 授業料減免制度があります。詳しい内容はお問い合わせください。

(3) 実習等経費

実習・実験等の経費が別途必要となる場合があります。

(4) その他納付金

入学時に同窓会費及び学生保険料等を納付していただく予定です。

詳細については、合格通知書とともにお知らせします。

※1 同窓会費については、長崎県立大学学部生で入会していた者は不要です。

※2 学生保険料については、保険の種類によって金額が異なります。

(5) 奨学金 (独立行政法人日本学生支援機構奨学金)

区 分	貸 与 月 額
第一種奨学金(無利子貸与)	50,000 円 88,000 円 (2種類から選択)
第二種奨学金(有利子貸与)	50,000 円 80,000 円 100,000 円 130,000 円 150,000 円 (5種類から選択)

※貸与月額に変更になる場合があります。

(6) 下宿・アパートの斡旋

下宿・アパートについては、本学大学生活協同組合で相談に応じます。

佐世保校 : TEL 0956-48-3732

シーボルト校 : TEL 095-887-5552

11. 研究指導担当教員

(1) 地域社会マネジメント専攻

コース	担当教員	専門分野	授業科目
ビジネス・マネジメントコース	岩重 聡美 教授	商学、流通学、 消費者保護	流通システム特論 特別研究
	谷澤 毅 教授	経済流通史、軍港都市史	流通史特論 経済史特論 特別研究
	鴻上 喜芳 教授	保険学、 リスクマネジメント学	リスクマネジメント特論 特別研究 特定課題研究
	山本 裕 教授	海運経済論、 物流論（ロジスティクス、サブ ライチェーン）	国際・地域物流特論 特別研究 特定課題研究
	宮地 晃輔 教授	会計学、管理会計論、 原価計算論、事業承継論	地域事業継承・後継者育成特論 会計学特論 管理会計特論 特別研究 特定課題研究
	矢野 生子 教授	国際経済学、国際金融論、 貿易論	国際経済特論 特別研究
	高橋 秀至 教授	法学、税法	企業税法特論 租税法特論 特別研究
	神保 充弘 教授	流通政策論、 マーケティング史	マーケティング史特論 特別研究
	津久井 稲緒 准教授	経営学、企業と社会論、 企業の社会的責任論	CSR 特論 特別研究 特定課題研究
	田代 智治 准教授	経営戦略論、中小企業論、 地域中小企業論、 アントレプレナーシップ	経営戦略特論 特別研究 特定課題研究

コース	担当教員	専門分野	授業科目
経済・地域政策コース	西岡 誠治 教授	都市計画、公共政策	公共政策特論 特別研究
	鳥丸 聡 教授	地域経済論、景気変動論、 産業構造論	地域振興特論 地域経済分析特論 特別研究
	綱 辰幸 教授	財政、地方財政、 社会保障	地域振興特論 財政学特論 特別研究
	車 相龍 教授	地域計画論、政策空間論、 地方論	地域振興特論 地域計画特論 特別研究
	田村 善弘 教授	農業経済学、食品流通論、 消費者教育論、地域研究（韓国）	農業経済特論 地域食文化特論 特別研究
	壁谷 順之 准教授	会計・ファイナンス、 租税制度論	金融特論 特別研究
メディア社会コース	森田 均 教授	メディア論、 ITS（高度交通システム）	社会課題特論 ネットワーク社会特論 特別研究
	笠原 敏彦 教授	国際政治、国際関係論、 アメリカの政治と外交	国際メディア特論 比較社会特論 特別研究
	祁 建民 教授	中国政治・社会	社会課題特論 比較社会特論 特別研究
	井上 佳子 教授	映像ジャーナリズム論	社会課題特論 現代社会特論 特別研究
	周 国強 教授	中国研究	日中文化社会特論 特別研究
	鈴木 暁彦 教授	政治学、国際関係論	社会課題特論 ジャーナリズム特論 特別研究
	荻野 晃 教授	国際政治学、国際関係史	地域振興特論、社会課題特論 国際関係特論、特別研究
	唐津 理恵 教授	日英比較文化論	日英比較文化特論 特別研究
	賈 曦 教授	国際コミュニケーション論、 環境コミュニケーション	社会課題特論 メディア社会学特論 特別研究
	吉光 正絵 准教授	社会学	社会課題特論 文化社会学特論 特別研究

コース	担当教員	専門分野	授業科目
国境離島文化振興コース	関谷 融 教授	教育学、 科学教育・教育工学、 人間情報学	社会課題特論 離島教育支援特論 特別研究
	松尾 晋一 教授 ※佐世保校	日本史学、博物館学	国境離島史特論 特別研究
	小原 篤次 准教授	金融論、国際金融論、 国際労働経済学	社会課題特論 地域情報経済特論 特別研究
	河又 貴洋 准教授	情報経済学、社会情報学、 経営情報学	離島社会情報特論 離島経済ネットワーク特論 特別研究

(2) 情報工学専攻

コース	担当教員	専門分野	授業科目
情報セキュリティコース	松崎 なつめ 教授	暗号技術、 データセキュリティ	データセキュリティ特論 特別研究
	日下部 茂 教授	ソフトウェア開発方法論、 社会技術、システム、 セーフティとセキュリティ	ソフトウェア開発プロセス特論 特別研究
	小林 信博 教授	制御システムセキュリティ	制御システムセキュリティ特論 特別研究
	加藤 雅彦 教授	ネットワークセキュリティ	ネットワークセキュリティ特論 特別研究
	星野 文学 教授	暗号理論、実装、 数論アルゴリズム	現代暗号特論 特別研究
	島 成佳 教授	認証、鍵管理、 サイバーセキュリティ、トラスト	サイバーセキュリティオペレーション特論 特別研究
	岡田 雅之 教授	インターネット基盤運用・ 基盤セキュリティ	インターネット基盤セキュリティ特論 特別研究
	齋藤 正也 准教授	時系列解析、 統計的リスク分析	数理科学特論 特別研究
	喜多 義弘 准教授	生体認証、モバイルセキュリティ ソフトウェアテスト	生体認証特論 特別研究
	福光 正幸 准教授	暗号数論、暗号理論、 デジタル署名	暗号数論特論 特別研究
人間情報科学コース	吉村 元秀 教授	まちづくり工学 (観光情報学、画像計測、機械学習)	画像計測特論 特別研究
	辺見 一男 教授	ヒューマンインタフェース、 画像処理	ヒューマンインタフェース特論 特別研究
	チャットウィチェンチャイ ソムチャイ 教授	データベース、XML、 アクセスコントロール	データベース特論 特別研究
	青木 研 教授	コンピュータグラフィックス、 メディアコンテンツクリエーション	数理造形表現特論 特別研究
	有田 大作 教授	実世界情報処理	地域振興特論、実世界情報処理特論 特別研究
	片山 徹也 教授	デザイン学、芸術工学、 色彩情報	色彩情報特論 特別研究
	山口 文彦 教授	人工知能応用、自然言語処理、 情報基礎論	人工知能特論 特別研究
	平岡 透 教授	画像処理、地理情報処理、 地域防災、地域活性化	空間情報工学特論 特別研究
	飛谷 謙介 准教授	感性情報学、 コンピュータビジョン、機械学習	情報理論特論 特別研究
	前村 葉子 講師	画像工学	視覚メディア工学特論 特別研究
	藤沢 望 講師	音響心理学	聴覚情報処理特論 特別研究

(3) 人間健康科学専攻

コース	担当教員	専門分野	授業科目
看護学実践コース	大塚 一徳 教授	教育認知心理学	マネジメント・リーダーシップ特論 アカデミックスキル特論 保健統計演習 看護研究の理論と方法特論 看護理論特論、看護学実践演習 特別研究
	李 節子 教授	母子看護学、 国際看護学、 グローバルヘルス	アカデミックスキル特論 看護研究の理論と方法特論 グローバルヘルス特論 母子看護学特論 看護学実践演習 特別研究
	立石 憲彦 教授	看護管理学	健康科学特論 アカデミックスキル特論 ヘルスアセスメント特論 看護管理学特論 看護学実践演習 特別研究
	大重 育美 教授	小児看護学、 看護管理学、 臨床看護学	看護倫理特論 健康科学特論 母子看護学特論 看護学実践演習 特別研究
	山澄 直美 教授	看護教育学、 看護管理	アカデミックスキル特論 看護研究の理論と方法特論 看護管理学特論 看護学実践演習 特別研究
	石川 美智 教授	成人看護学、 臨床看護学	看護理論特論 看護学実践演習
	高比良 祥子 教授	成人看護学、 臨床看護学	アカデミックスキル特論 看護理論特論 成人・老年看護学特論 看護学実践演習 特別研究
	林田 りか 准教授	母子看護学	健康科学特論 アカデミックスキル特論 看護理論特論 母子看護学特論 看護学実践演習 特別研究
	山口 多恵 准教授	老年看護学、 リハビリテーション看護学	成人・老年看護学特論 看護理論特論 看護学実践演習 健康科学特論 特別研究
	三重野 愛子 准教授	基礎看護学、 臨床看護学	特別研究
公衆衛生看護学コース	竹口 和江 准教授	公衆衛生看護学	地域振興特論 公衆衛生看護学原論Ⅰ・Ⅱ 対象別・健康課題別各論 活動展開・支援技術特論 地域診断特論 公衆衛生看護管理特論 公衆衛生看護学セミナーⅠ 公衆衛生看護学発展実習Ⅰ・Ⅱ 特定課題研究
	安野 敦子 講師	公衆衛生看護学	対象別・健康課題別各論 公衆衛生看護管理特論 健康危機管理特論 ケアシステムマネジメント特論 公衆衛生看護学基礎実習Ⅲ 公衆衛生看護学セミナーⅠ・Ⅱ 公衆衛生看護学発展実習Ⅰ・Ⅱ 特定課題研究

コース	担当教員	専門分野	授業科目
栄養科学コース	大曲 勝久 教授	臨床栄養学	臨床栄養学特論 アカデミックスキル特論 健康科学特論 最新栄養科学特論 特別研究
	倉橋 拓也 教授	有機化学	有機化学特論 最新栄養科学特論 特別研究
	古場 一哲 教授	食品機能学、食品栄養学	食品機能学特論 健康科学特論 最新栄養科学特論 特別研究
	世羅 至子 教授	病態栄養学、内分泌代謝	生活習慣病医療学特論 最新栄養科学特論 健康科学特論 特別研究
	柴崎 貢志 教授	神経生理学、細胞生化学	細胞生化学特論 最新栄養科学特論 特別研究
	田中 進 教授	形態機能学、再生生物学、睡眠科学	機能形態学特論 健康科学特論 特別研究
	駿河 和仁 准教授	栄養生理学、分子栄養学	栄養生理学特論 最新栄養科学特論 健康科学特論 アカデミックスキル特論 特別研究
	松澤 哲宏 准教授	食品衛生学、分類学、微生物学	食品衛生学特論 最新栄養科学特論 アカデミックスキル特論 健康科学特論 特別研究
	飛奈 卓郎 准教授	運動生理学、運動療法、 分子生物学	健康体力科学特論 最新栄養科学特論 健康科学特論 アカデミックスキル特論 特別研究
	城内 文吾 准教授	栄養化学、栄養生理学、 脂質栄養学	代謝栄養学特論 最新栄養科学特論 特別研究
	植村 百江 講師	栄養管理学、栄養教育学	栄養管理学特論 健康科学特論 地域食文化特論 最新栄養科学特論 特別研究
	本郷 涼子 講師	給食経営管理学、栄養管理学、 病態栄養学	フードマネジメント特論 最新栄養科学特論 健康科学特論 特別研究
	竹内 昌平 講師	疫学、公衆衛生学、人類生態学	栄養疫学特論 健康科学特論 最新栄養科学特論 保健統計特論 アカデミックスキル特論 特別研究

12. 授業科目一覧

(1) 地域社会マネジメント専攻

科目 区分			授業科目の名称	配当年次	単位数		
					必修	選択	自由
修士課程 共通科目			地域振興特論	1	2		
			マネジメント・リーダーシップ特論	1	2		
専攻 共通科目			社会課題特論	1	2		
			現代政治経済社会特論	1		2	
			ヒューマン・リソース・マネジメント特論	1		2	
			経済統計特論	1		2	
			国際関係特論	1		2	
			離島社会情報特論	1		2	
専門科目	ビジネス・マネジメントコース	マネジメント系	ビジネス・マネジメント特論	1		2	
			経営管理特論	1		2	
			経営組織特論	1		2	
			経営戦略特論	1		2	
			C S R 特論	1		2	
			地域マネジメント特論	1		2	
			国際経営特論	1		2	
			観光経営特論	1		2	
			コーポレート・ファイナンス特論	1		2	
			リスクマネジメント特論	1		2	
			長崎と九州の企業特論	1		2	
			地域事業継承・後継者育成特論	2		2	
		マーケティング系	マーケティング戦略特論	1		2	
			流通システム特論	1		2	
			流通史特論	1		2	
			マーケティング史特論	1		2	
			国際・地域物流特論	1		2	
			国際経済特論	1		2	
			経営情報特論	1		2	
		会計学・関係法系	会計学特論	1		2	
			財務会計特論	1		2	
			管理会計特論	1		2	
			企業税法特論	1		2	
			租税法特論	1		2	
			会社法特論	1		2	

科目 区分			授業科目の名称	配当年次	単位数		
					必修	選択	自由
専門科目	経済・地域政策コース	経済学系	経済学特論	1		2	
			経済政策特論	1		2	
			財政学特論	1		2	
			計量経済学特論	1		2	
			経済史特論	1		2	
			金融特論	1		2	
		地域行政系	公共政策特論	1		2	
			地域計画特論	1		2	
			地方行政法特論	1		2	
			市民参加特論	1		2	
			政策評価特論	1		2	
		地域政策系	地域経済分析特論	1		2	
			農業経済特論	1		2	
			地域環境政策特論	1		2	
			交通経済特論	1		2	
			地域福祉特論	1		2	
専門科目	メディア社会コース	メディア社会学特論	1		2		
		ネットワーク社会特論	1		2		
		メディアコミュニケーション特論	1		2		
		ジャーナリズム特論	1		2		
		国際メディア特論	1		2		
		現代社会特論	1		2		
		比較社会特論	1		2		
		文化社会学特論	1		2		
		日中文化社会特論	1		2		
		日英比較文化特論	1		2		
専門科目	国境離島文化振興コース	地域・離島文化特論	1		2		
		離島経済文化振興特論	1		2		
		国境離島史特論	1		2		
		宗教文化特論	1		2		
		村社会文化持続特論	1		2		
		離島文化ツーリズム開発特論	1		2		
		地域食文化特論	1		2		
		国際法特論	1		2		
		地方自治法特論	1		2		
		地域振興関係法規特論	1		2		
		離島教育支援特論	1		2		
		離島経済ネットワーク特論	1		2		
		地域情報経済特論	1		2		
		研究指導科目	特別研究	1～2		8	
特定課題研究	1～2			4			

【履修方法及び修了要件】

(ビジネス・マネジメントコース)

①社会人特別選抜の選抜区分で入学し特定課題研究を希望する者

修士課程共通科目 4 単位、専攻共通科目 6 単位以上、同コースの専門科目から 1 8 単位以上、研究指導科目から特定課題研究 4 単位の計 3 2 単位以上を修得する。

②①以外の者

修士課程共通科目 4 単位、専攻共通科目 6 単位以上、同コースの専門科目から 1 4 単位以上、研究指導科目から特別研究 8 単位、計 3 2 単位以上を修得する。

(経済・地域政策コース)

修士課程共通科目 4 単位、専攻共通科目 6 単位以上、同コースの専門科目から経済学系 4 単位以上を含む 1 4 単位以上、研究指導科目から特別研究 8 単位、計 3 2 単位以上を修得する。

(メディア社会コース)

修士課程共通科目 4 単位、専攻共通科目 6 単位以上、同コースの専門科目から 1 4 単位以上、研究指導科目から特別研究 8 単位、計 3 2 単位以上を修得する。

(国境離島文化振興コース)

修士課程共通科目 4 単位、専攻共通科目 6 単位以上、同コースの専門科目から 1 4 単位以上、研究指導科目から特別研究 8 単位、計 3 2 単位以上を修得する。

(全コース共通)

他コース科目（国境離島文化振興コースからは「地域・離島文化特論」「離島経済文化振興特論」「離島経済ネットワーク特論」の 3 科目）より 4 単位を上限として所属するコースの専門科目に含めることができる。

(2) 情報工学専攻

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		
			必修	選択	自由
修士課程 共通科目	地域振興特論	1	2		
	マネジメント・リーダーシップ特論	1	2		
専攻 共通科目	数理学特論	1	2		
	計算機科学特論	1	2		
	データベース特論	1		2	
	ソフトウェア開発プロセス特論	1		2	
専門 科目	情報 セ キュ リ ティ コ ー ス	データセキュリティ特論	1		2
		生体認証特論	1		2
		暗号数理特論	1		2
		ネットワークセキュリティ特論	1		2
		情報セキュリティリスクマネジメント特論	1		2
		インターネット基盤セキュリティ特論	1		2
		制御システムセキュリティ特論	1		2
		現代暗号特論	1		2
		サイバーセキュリティオペレーション特論	1		2
	人間 情 報 科 学 コ ー ス	空間情報工学特論	1		2
		聴覚情報処理特論	1		2
		ヒューマンインタフェース特論	1		2
		実世界情報処理特論	1		2
		色彩情報特論	1		2
		数理造形表現特論	1		2
		社会情報科学特論	1		2
		視覚メディア工学特論	1		2
		感性情報学特論	1		2
研究指導科目	特別研究	1～2	8		

【履修方法及び修了要件】

修士課程共通科目 4 単位、専攻共通科目 6 単位以上、専攻共通科目、所属コース及び他コース専門科目から 14 単位以上（所属するコースの専門科目からは 8 単位以上必須）、研究指導科目から特別研究 8 単位の計 32 単位以上を修得する。

(3) 人間健康科学専攻

科目 区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			
					必修	選択	自由	
修士課程 共通科目			地域振興特論	1	2			
			マネジメント・リーダーシップ特論	1	2			
専攻 共通科目			健康科学特論	1	2			
			アカデミックスキル特論	1	2			
			保健統計演習	1		2		
			保健・医療政策特論	1・2		2		
			行政・組織特論	1		2		
			最新栄養科学特論	1		2		
専門科目	看護学 共通科目		看護研究の理論と方法特論	1		2		
			看護理論特論	1		2		
			ヘルスアセスメント特論	1		1		
			医療経済・地域経済特論	1		2		
			グローバルヘルス特論	1		1		
			メンタルヘルス特論	1		1		
			看護倫理特論	1		2		
専門科目	看護学 実践 コース	看護学 実践系	看護管理学特論	1		2		
			母子看護学特論	1		2		
			成人・老年看護学特論	1		2		
			地域看護学特論	1		2		
			看護学実践演習	1		2		
専門科目	公衆衛生 看護学 コース		基礎 専門系	公衆衛生看護学原論Ⅰ	1		1	
				公衆衛生看護学原論Ⅱ	2		1	
				活動展開・支援技術特論	1		3	
				対象別・健康課題別各論	1		3	
				地域診断特論	1		3	
				ケアシステムマネジメント特論	2		1	
				公衆衛生看護管理特論	2		2	
				公衆衛生看護学セミナーⅠ	1		2	
				健康危機管理特論	2		1	
				疫学特論	1		2	
				保健統計特論	1		2	
				保健医療福祉行政特論	1		1	
				公衆衛生看護学基礎実習Ⅰ	1		2	
				公衆衛生看護学基礎実習Ⅱ	1		2	
				公衆衛生看護学基礎実習Ⅲ	1		1	

科目 区分			授業科目の名称	配当年次	単位数		
					必修	選択	自由
専門科目	公衆衛生看護学コース	発展専門系	公衆衛生看護学発展実習Ⅰ	2		2	
			公衆衛生看護学発展実習Ⅱ	2		2	
			社会調査法特論	1		2	
			環境保健特論	2		1	
			保健情報特論	2		1	
			公衆衛生看護学セミナーⅡ	2		1	
			公共性特論	2		1	
専門科目	栄養科学コース	基礎栄養科学系	細胞生化学特論	1		2	
			有機化学特論	1		2	
			栄養生理学特論	1		2	
			機能形態学特論	1		2	
			代謝栄養学特論	1		2	
			食品衛生学特論	1		2	
			食品機能学特論	1		2	
			栄養疫学特論	1		2	
		実践栄養科学系	臨床栄養学特論	1		2	
			健康体力科学特論	1		2	
			調理科学特論	1		2	
			栄養管理学特論	1		2	
			フードマネジメント特論	1		2	
			生活習慣病医療学特論	1		2	
研究指導科目			特別研究	1 ～ 2		8	
			特定課題研究	1 ～ 2		4	

【履修方法及び修了要件】

(看護学実践コース)

修士課程共通科目 4 単位、専攻共通科目 6 単位以上、専攻共通科目、看護学共通科目及び同コース専門科目から 14 単位以上、研究指導科目から特別研究 8 単位の計 32 単位以上を修得する。

(公衆衛生看護学コース) 保健師資格取得コース

修士課程共通科目 4 単位、専攻共通科目から必修科目 4 単位のほか「保健・医療政策特論」及び「行政・組織特論」 4 単位、看護学共通科目から「看護研究の理論と方法特論」及び「看護理論特論」 4 単位、同コース基礎専門系の 15 科目 27 単位及び発展専門系の 7 科目 10 単位、専攻共通科目及び看護学共通科目から選択 6 単位以上、特定課題研究 4 単位、計 63 単位以上を修得する。

(栄養科学コース)

修士課程共通科目 4 単位、専攻共通科目 6 単位以上、同コース専門科目から 14 単位以上、研究指導科目から特別研究 8 単位の計 32 単位以上を修得する。